

行雲流水

No.161 令和4年2月3日発行

いまだピークは、見えない

校長 寒河江 正人

厳しい冬を乗り越えて、明日は、**立春**。

毎朝の除雪活動、ごくろうさま。

おかげさまで、**正門から昇降口前の広場**は、いつも**除雪**が行き届いています。

ありがとうございます。

3学期始業式の「校長式辞」で、生徒諸君にお話しした「**生徒会による日常の自治活動**」が、**生徒会長を中心にしっかりと機能している姿**なのだと感心しております。

生徒会の安全委員会主催によるこの活動は、明日で**足かけ7週間**となりました。

きっと、もうしばらくは、**降雪**が見込まれます。

生徒諸君、お互いに声かけ合って、力を合わせて、よろしくお願い致します。

さて、昨日は、2学年の生徒から発熱等の体調変化が確認されたことに端を発して、感染防止のための「**ゼロ密**」への配慮から、**時差下校**の対応をとりました。

県内の新規感染者数、一昨日は、**284人**。昨日は、**276人**。

そして、本日は、ついに**350人**となりました。

オミクロン株による感染拡大の勢いは、とどまるところを知りません。

吉村美栄子県知事も「**いまだピークは、見えない**。」と述べています。

そこで、本校では、本日から**登校時の「検温3重チェック」**の厳戒態勢をとっております。

「いつ、どこで、だれに感染が確認されても不思議はない。」という状況かもしれません。

たとえば、「**ここまで感染しなかったから、大丈夫なはず**。」とか、

「**自分に限っては、感染するはずがない**。」と過信して油断するのが最も危険です。

生徒諸君、保護者の皆様、これまでもお知らせしているとおりの繰り返しになります。

発熱やのどの痛みなどの身体の不調を感じたら、迅速に医療機関を受診してください。

そして、医師の指示に従ってください。

その際、検査や診断の結果については、速やかに本校に報告願います。

お互いの健康と生命の安心安全のため、一人ひとり意識を高くして対応願います。